

「おしゃれキャット」を読んで

二年生

「おしゃれキャット」を読んで

二年生

父

二年生

「おしゃれキャット」の本を読んでどうだった？

始めは悲しかったけど、最後はうれしかった。

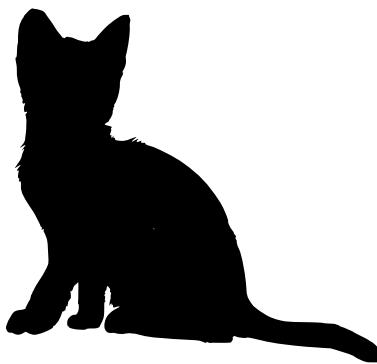
悲しかった所と嬉しかった所はどこだった？

パリでお金持ちのおばあさんと幸せに暮らしていた猫たちが、お金がきつかけで悪い執事に遠くに置き去りにされて、おばあさんの家まで帰り道がわからないネコ達だつたが、親切なノラネコのオマリーに、道案内をしでもらい、その旅路で、多くの経験と友達ができ、無事におばあさきんの家に帰ることができたが、また悪い執事に捕まってしまつた。しかし、旅で出会つた仲間たちに助けられ、執事を退治することができた。

無事におばあさんと再会して、オマリーとその仲間たちに助けられたことをしり、おばあさんはパリのネコ達みんなに家を建て、パリの中のネコ達は幸せに暮らすことができました。そのことから、おしゃれキャットと呼ばれるようになつたお話である。

おしゃれキャットを読んでみて、執事のおじさんは、とてもひどいことをするなあと思いました。でも、最後は、みんな幸せに暮らすことができてよかったです。

僕には、0歳4か月の弟がいます。ノラネコのオマリーのよう、弟を守つて、家族みんなでこれからも仲良く暮らしたいなあとthoughtいました。



母 子 母 子 母 子 母 子

母 子 母 子 母 子 母 子

「私が死んだら、この家とお金は、ネコ達にゆずるわ。ネコ達が死んだら、エドガーにあげるつもり。」というおやしきのおばあさんの話をエドガーが聞いて、ネコたちを町のはずれに置き去りにした所が悲しかった。嬉しかった所は、ネコたちが無事に帰つてきて、おばあさんが大喜びでダッヂエスやオマリーたちを抱き上げて、猫たちみんなに家を建ててあげた所。

ネコたちは町はずれにおきざりにされたけど、無事に帰つてこれたのはどうして？

オマリーや他のネコたちが、ダッヂエスを助けてくれて、おやしきまで連れて行つてくれた。

他のネコたちの助けがあつたから、無事に帰つてこれたんだね。もし、自分がダッヂエスだつたらどんな気持ちになる？

私だつたら、うれしい気持ちになるし、「ありがとう」と思う。

そうだよね。助けてくれたら嬉しいし、「ありがとう」って感謝の気持ちになれる事つて大事だよね。

もし、○○ちゃんの周りで困つている人がいたら、どうする？

まずは「大丈夫？」って聞いて、困つている事があつたら助けてあげたい。みんな助ける。

○○ちゃんは困ついたら、助けてあげたいんだね。友達に対しても家族の中で誰かが困つていた時も必ず、「どうしたの？」、「大丈夫？」って声をかけてくれるよね。人に対して優しい気持ちを持つていることが、母さんは嬉しいよ。これからも、その優しさを忘れずにいてほしいと思うよ。

「おしゃれキヤット」を読んで

二年生

「まちがいけしごむ」を読んで

二年生

子 執事がネコたちを追い出したところがとてもかわいそうでした。

追い出されたときに、出会ったノラネコたちが、猫たちの家にもどしたあげたところがやさしいと感じました。

さいご幸せにネコたちが暮らせてうれしかったです。

親 大金持ちのおばあさんにとってもかわいがれて暮らしていた猫たちですが、執事のエドガーの一方的な悪意から追い出されてしまいます。理不尽な目にあいながらも、町ののら猫たちに助けられながら、無事に家に帰ることができてよかったです。

現実世界でも理不尽なことや、人の悪意に触れてしまうことは避けられませんが、この町の猫たちのように、みんなが幸せに暮らし続けられると改めて感じました。

ぼくはまちがいけしごむの中にでてきたオムくんのように、ぼくもあわてんぼうで、解く問題を、あわてて、例えば $22+21=43$ なのにひきざんになつて 1 と書いたことがあります。

はじめにこの話を読んだときに、こんなけしごむをつかってみたいと思つたけど、よく考えたら、そんなことで成績を上げても自分のためにならないのでいらないと思いました。

自分が今思つたことは、まず自分のあわてんぼうな性格を直して成績を上げるために毎日コツコツがんばることが大切だと思いました。



「おしゃれキヤツト」を読んで

二年生

「まちがいけじごむ」を読んで

二年生

子

しつじのエドガーが、とてもいじわるだなと思いました。おばあさんとの家とお金をじぶんのものにするために、ネコたちをつれさつてパリのはずれまでつれて行つたからです。

それにくらべてのらネコのオマリーは、ネコたちをおばあさんのおやしきまでつれて行つてあげてとてもやさしいと思いました。

さいごは、のらネコなかもネコたちをたすけてあげたので、おれいに、おばあさんが、のらネコなかもたちにも家をたててあげました。やさしいのらネコたちも一しょにくらせて、しあわせになれてよかつたと思います。

わたしもこまつた人がいたら、たすけてあげたいです。

親

今、オリンピックが行われている「パリ」を舞台にしたお話で、ディズニーのキヤラクターが登場人物に出てきたので、子どもにとつてとても読みやすい本でした。

自分の欲のために、ネコたちを危険な目に合わせたしつじのエドガー。

マリーを助けるために、川の中にとびこむ行動をしたのらネコのオマリー。この両者が最後は、明瞭明快な結末を迎えます。

自分がネコたちにした意地悪が、そつくりそのまま自分に返ってきた

オマリー。ネコたちを助けるために、優しい行動をしたのらネコたちは、

幸せな環境で暮らせるようになり、ダツチエスたちも、一緒にとても喜

んだことでしょう。

今もパリの街を歩けば、おしゃれキヤツトたちが仲間と楽しく過ごしている姿が見られるかもしませんね♡

子

オムくんというあわてんぼうの子がいました。そのことは、けしかすをためてけじごむをつくりました。そのけじごむは、まちがえたもんだいしか、けせませんでした。テストであつたらしいなと思いました。まち

がいしかせないのがすごいと思いました。

きりんとぞうのえをじょうずにかけなくてけしたら、本もののきりんとぞうがでてきました。本ものが出てきたらこわそうです。きりんとぞうはどうぶつなのにしやべっているからびっくりしました。わたしはいらないものがけせるけじごむをつくつてみたいです。たとえば気みがわるいものやゆうれいとかです。

親

あわてんぼうのオムくんの体験を読んで、子どもにはおちついてよく考えてから書くようにしなくては……と思ってほしかったのですがそうはなりませんでした。子どもたちがよく作っている「ねりけし」を題材にしていて親しみやすく、作る材料によつて消える物が違うというのはとてもおもしろいと思いました。読書感想文を書くのは難しいようで、消しゴムを作れそなくらい沢山の消しカスがでました。